| | |
|---|---|
| 事例No. | 2069 |
| 公表年度 | R4 |
| 団体の属性 | 中核市 |
| 団体名 | 福井県福井市 |

| | |
|---|---|
| 事例区分 | DX |

| | |
|---|---|
| タグ | ・（行政改革）業務の効率化<br>・EBPM<br>・ICT |

| | |
|---|---|
| 事例種類 | 農林水産業 |

事例内容・タイトル

流速や波高等を計測する自動観測ブイにより収集したデータを活用した漁業の効率化

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

# 89 流速や波高等を計測する自動観測ブイにより収集したデータを活用した漁業の効率化【福井県福井市】

## 事業の概要

○ 福井市は、令和3年度定置網漁業において、漁場に行っても、漁場の波が高いことや潮の流れが速いことにより、網の引き上げができずに帰港することを避けるために、流速や波高を計測するブイの設置について補助を行っている。

○ 海上に設置したブイが収集した、波などの状況に関する情報を、クラウドを経由して、陸上の端末にリアルタイムで表示することにより、漁業者が出港前に漁場の状況を知り、出港を判断する材料とすることができる。これにより、燃料費等を削減することで生産者の負担を軽減するとともに、航行のリスクを減らし、安全を確保することができる。






【参考情報①】 人口：26.2万人
関連URL： ー

【参考情報②】地方創生推進交付金（内閣府）とは
URL：www.chisou.go.jp/tiiki/tiikisaisei/souseikoufukin.html

## もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（福井市）

定置網漁業では、これまで漁業者の経験や勘に基づき出漁の可否を判断していましたが、情報伝達技術を活用することで、漁業の効率化を目指しました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



令和3年度に内閣府の地方創生推進交付金（1,433千円）を活用しました。



事業の近況を教えてください



自動観測ブイが計測する漁場での流速や波高等のデータを漁業者のスマートフォンで確認できるため、出漁の判断を正確に行うことができるようになりました。これにより、人件費や燃料費等の経費軽減が図れています。

★担当：福井市農林水産部 林業水産課★

令和3年度事業費 4,300千円
（うち、地方創生推進交付金（内閣府） 1,433千円）